

心に残る文化財子供塾 奥出雲町立八川小学校

平成 27 年 5 月 26 日 (火) 10:45~12:25

1. 活動の概要

5 月 26 日 (火)、奥出雲町立八川小学校で『心に残る文化財子供塾』を開催しました。はじめに埋蔵文化財調査センター職員から、学校の周辺の遺跡(上方林遺跡・小池横穴墓群)や文化財について、スライドや実際の遺物を見ながら話を聞きました。子供たちは家のすぐ近くに山城があったり、横穴墓がたくさん存在することなどを初めて知り、とても驚いた様子でした。次に、県埋蔵文化財調査センターの職員から、クイズ形式で古代について学びました。社会科で歴史を習ったばかりということもあって、とても熱心に取り組んでいました。

そして、いよいよ勾玉作りです。最初に県埋蔵文化財調査センターの職員から勾玉に関するクイズと作り方の説明を受け、いよいよ本番です。最初はなかなかペース配分が掴めず、勾玉の形にするのに苦労しましたが、水に濡らした目の細かいサンドペーパーで磨いて玉が輝き始めると、みんな夢中になって磨きあげていました。時間が不足気味でしたが、最後はほぼ全員が自慢の玉を完成することができ、みんなとても嬉しそうでした。

2. 活動の様子



「縄文時代の人は何を食べていたのかな？」

「すごい、学校の近くからこんなものが！」



「本物の勾玉ってすごい！」

「完成までもう少し。頑張るぞ！」

3. 子供塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- 色のついたきれいな勾玉ができてうれしかった。
- 八川小の近くに遺跡があること、特に近くの山に横穴墓があって玉が出ていることを知ってびっくりした。

2) 担任の先生から…

- 校区内の遺跡の紹介と、そこから実際に出てきた実物を町教委の方が持ってきて下さってよかったです。
- 勾玉作り体験は子どもたちがとても喜んでいました。今後もまた利用させていただきます。

3)埋蔵文化財調査センターから…

少人数ですが、みんな一生懸命に授業に取り組んでもらいました。最初に八川小校区の遺跡について実際の遺物を身ながら皆さんに学んでもらいました。みんな学校の近くに遺跡が存在していたことを知って、驚いていた様子が印象的でした。今回の学習を機会に、ぜひとも自分たちの近くの遺跡や文化財・歴史について調べてみてもらえればと思います。

勾玉づくりはやや時間が不足気味でしたが、みんな熱心に取り組んでいただきました。こちらの時間配分への配慮が不十分であったこともあり、みんなが楽しみにしていた古代衣装体験ができず、子どもたちや学校の先生方にはご迷惑をおかけしてしまいました。反省点として、今後の他校での体験活動に生かしていきたいと思います。